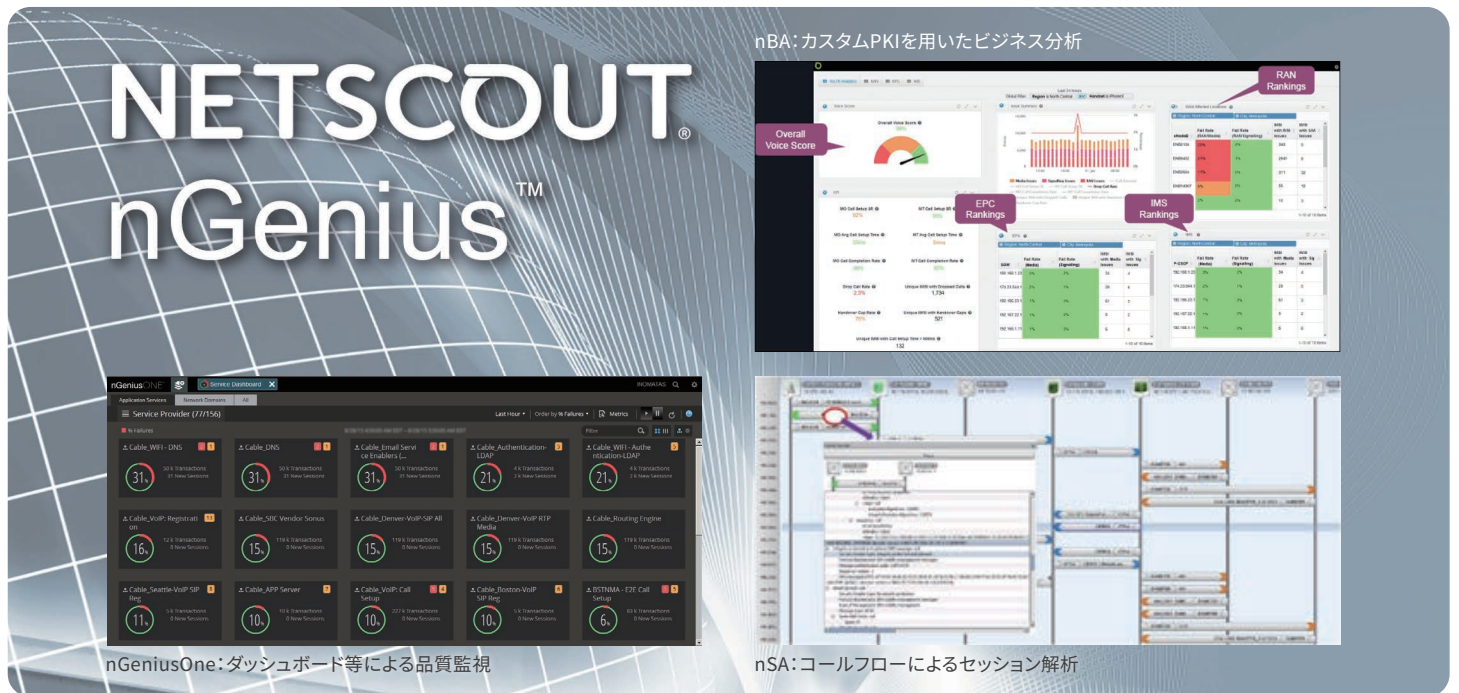


通信フローや通信品質を分かりやすく可視化することで  
ローカル5G環境の構築・運用が容易になります。



**NETSCOUT nGenius™**

nBA: カスタムPKIを用いたビジネス分析

nGeniusOne: ダッシュボード等による品質監視

nSA: コールフローによるセッション解析

超高速・大容量化・超低遅延・多数同時接続といった特徴を活用し、地域特有のニーズや産業分野の個別ニーズに応じて柔軟に通信ネットワークを構築できる「ローカル5G」に熱い視線が注がれていますが、そのメリットを最大限に活かすにはスケーラブルかつビジネス分析も視野に入れた通信監視が必須です。ネットワークの規模を問わず、トラブルシューティング/サービス品質監視/サービス分析を可能にするサービスアシュアランスソリューション NetScout nGenius for 5Gは、通信トラフィックデータやログデータを収集し、それらに関連付けて高度な解析と可視化することで、ネットワーク品質の安定化は元より、トラブル対応の迅速化や将来的なトラフィックの予測が可能になります。

**POINT**
**1**
**スケーラブルな監視**

さまざまな監視対象サービスを定義してダッシュボードにカスタム配置が可能で、機能ブロック毎に製品が用意されておりユーザーニーズに合わせた最適な組み合わせでご利用頂けます。

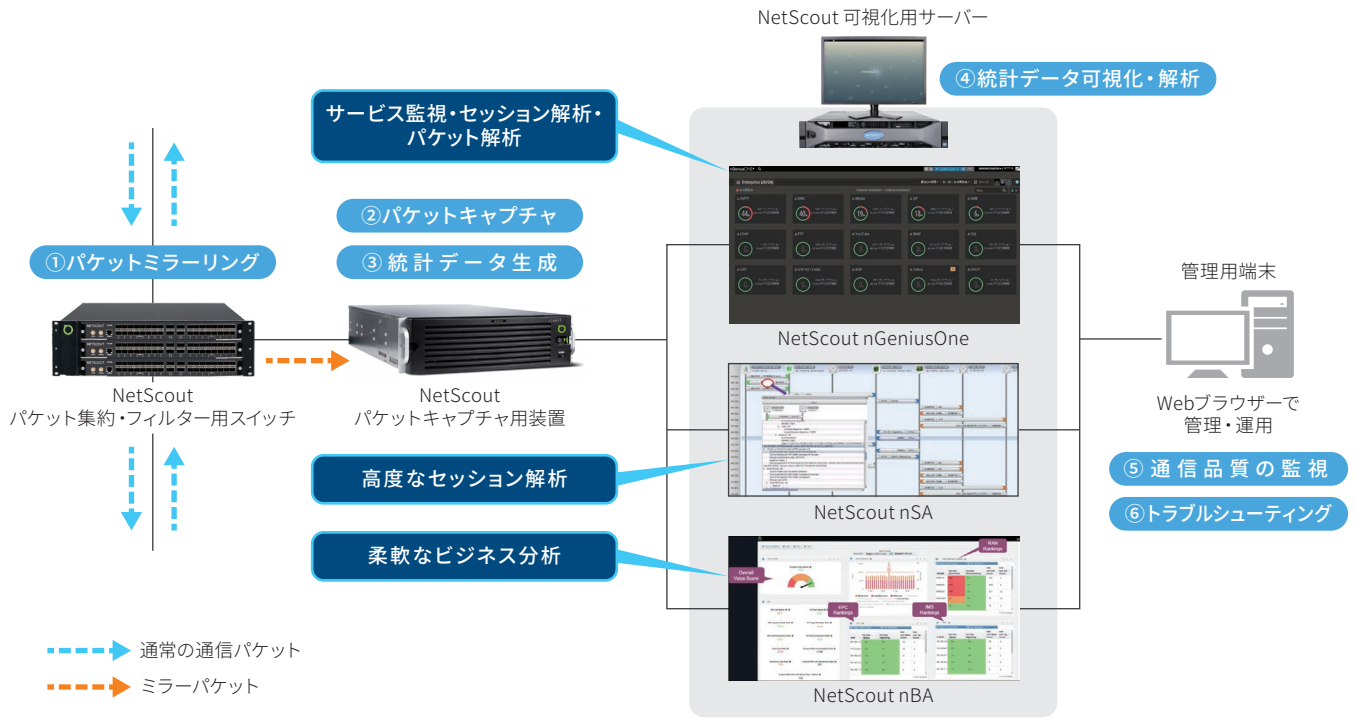
**POINT**
**2**
**高度なセッション解析**

nSAは、通信技術にまたがるコールフローを関連付け、高度なセッション解析を可能にします。C-planeとU-planeを関連付け、RANからコアネットワークまで、エンドツーエンドのコールフローを解析・可視化が可能になります。

**POINT**
**3**
**柔軟なビジネス分析**

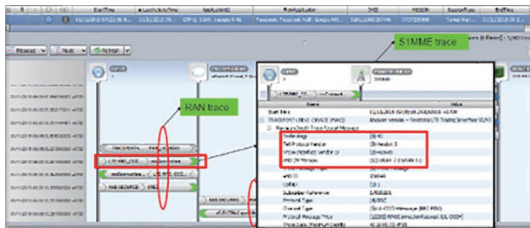
nBAは、通信ネットワーク全体から収集した通信トラフィックを解析し、お客様が独自定義したKPIによってリアルタイムな可視化が可能です。提供サービスの最適化・高度化・ビッグデータ分析に活用できます。



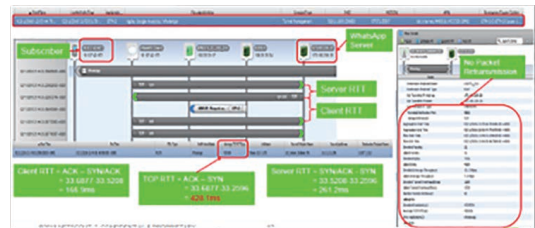


ユースケース

nGenius Session Analyzer (nSA)

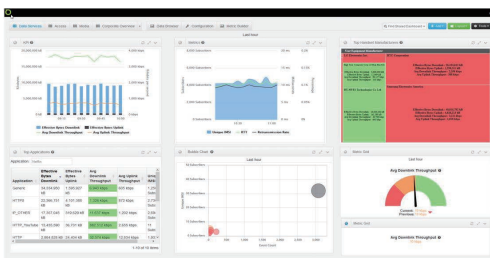


① RAN区間のコールフロートレース

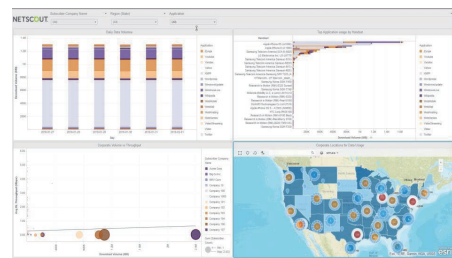


② コールフローから応答遅延時間の解析

nGenius Business Analytics (nBA)



① RAN~EPC~IMS自動分析および、ダッシュボードの作成



② カスタムレポートの作成

【開発元】 NETSCOUT.

お問い合わせ

[https://www.ntt-at.co.jp/product/service\\_assurance/](https://www.ntt-at.co.jp/product/service_assurance/)



※記載された社名、ロゴ、各製品名等は、各社の商標または登録商標です。※仕様は予告なく変更される場合があります。※カタログ記載内容 2020年8月現在

【販売元】

NTTアドバンステクノロジー株式会社

セキュリティ事業本部 IPソリューションビジネスユニット  
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー